

一般質問の要約



完成間近な久保の下橋

令和元年台風第19号により流失した木橋3橋の復旧について



金子 博

問 木橋3橋のそれぞれの進捗状況は。

答 新井橋・新堀橋・久保の下橋の3橋ともに、ほぼ同時進行にて工事を進め、橋の橋台、橋脚を作る下部工、橋桁の製作及び橋脚の上に橋桁の架設を行う上部工まで完成。現在は、橋と既設道路を接続するための取り付け工事を施工中。

問 市内の河川に架かる橋の老朽化の現状と対策は。

答 市が管理する131橋の内、架設から50年経過している橋は、75橋あり老朽化を迎えているが、その健全度は、早期に措置を必要とする判定3の橋が2橋のみで、残り129橋は、予防保全、又は健全とされる判定2又は1となっており、引き続き計画的に修繕工事を実施し維持管理に努めていく。

ヘルメットの着用について

問 市内の自転車における交通事故の発生件数は。

答 自転車は、年齢・性別を問わず多くの方が利用している反面、事故も発生している。令和4年中に市内の自転車に関する交通事故件数は、23件で、前年比7件増加。

問 ヘルメット着用を促すための対策は。

答 道路交通法の改正に合わせ3月の広報ひだかで周知を図り、5月には

九都県市自転車マナーアップ強化月間に合わせ警察と連携しPR活動の実施及び市ホームページやSNSを使用し着用の促進をしている。

教職員の働き方改革について

問 教職員の勤務時間の実態は。

答 国が定める月45時間の上限を超える時間外勤務をしている教職員は、小中学校共に国や県を下回り大幅に改善されている。

問 持ち帰り業務の実態は。

答 アンケート調査の結果から、66%の教職員が「持ち帰り業務がある」と回答し、その内3人に1人が「ほぼ毎日」と回答。内容は、教材研究が67%と最も多い業務である。

DX推進の今後の展望について



山田 一繁

問 新型コロナウイルス対応において、地域・組織間で横断的にデータが十分に活用できないなどデジタル化の遅れが露呈

制度や組織の在り方をデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のデジタル・トランスフォーメーション(DX)が求められている。日高市においても、将来人口推計によると2040年には総人口が今より約1万人減少することが推計され、現在約350人いる職員も減ることが想定される。今後訪れる2040年問題を乗り越え、持続可能な自治体経営の実現のためにもDXを進める意義は大きい。そこで本市が目指す方向性は。

基本方針は「みんなにやさしいサービス」として行政手続きのオンライン化、「みんなにやさしいまち」として地域社会のデジタル化、「みんなにやさしい市役所」として内部事務の効率化と、3つのテーマについて取り組む。

問 役所では窓口での対応によるサービスや紙の文化が依然として残っており、DXの推進には様々な課題がある。職員の意識改革は。

答 研修等を通じ、職員のDXに対する意識の統一やデジタル関連スキルの習得など、DXを推進していく体制を整備するよう努め、庁内組織全体で推進していく機運を醸成する。

問 ICT機器に不慣れた市民への対応は。

答 DX推進の目的は市民の暮らしをより便利に



日高市DX推進基本方針